

# ファンドの運用状況

— 巨大な世界市場を舞台に成長を続ける日本のコンテンツ —

ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株ファンド  
愛称:エンタメ∞ニッポン 追加型投信/国内/株式



▶ 平素は「ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株ファンド(以下、当ファンド)」に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本レポートでは、当ファンドの運用状況についてご紹介します。

## ファンドの運用状況について

### 膠着感が強まるコンテンツ関連株

当ファンドの基準価額は、3月以降、レンジ内での推移となっています。2月末の米国とイスラエルによるイランに対する軍事行動に端を発した地政学的リスクの高まりから、市場ではリスクオフの動きが強まりました。資源エネルギー価格の上昇による悪影響が懸念される中、相対的に影響を受けにくいコンテンツ関連株には見直し買いの動きがみられました。一方、4月から5月にかけて本格化する本決算への警戒感から上値も重く膠着感の強い展開となりました。

### 本決算通過後に評価見直しの余地

マーケットでは本決算において、新年度の会社計画が保守的となる可能性が意識されています。コンテンツ関連企業は収益の変動性が高く、期初段階では製品やサービスのパイプラインが固まりにくいことから、会社計画は慎重に示される傾向がありますが、実際には期中での上方修正や計画超過での着地となるケースも多く見られます。

足元のコンテンツ関連株の上値が重い状況についても、こうした見方が影響している可能性があります。今回は資源エネルギー価格の上昇や消費動向の不透明感もあり、例年以上に慎重な計画が示される可能性があることには留意が必要です。

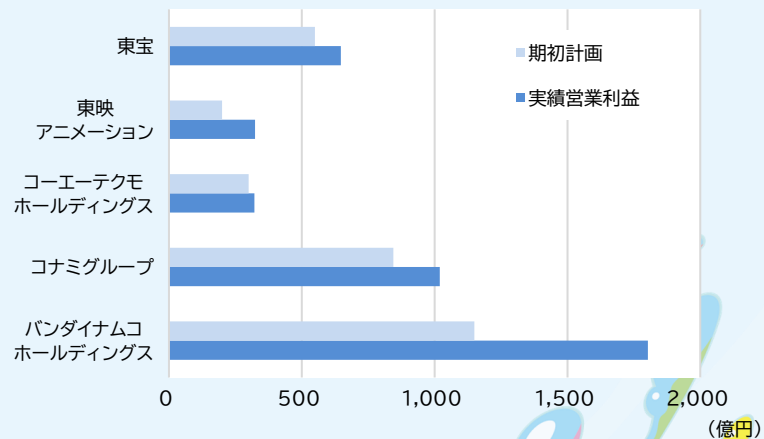
もっとも、こうした保守的な会社計画は構造的な要因によるものであり、**期中の上方修正や新作タイトルの投入、既存IPの展開拡大を通じて業績モメンタムは徐々に顕在化**するとみています。本決算通過後は不透明感の後退とともに見直しの動きが強まりやすい局面となる見通しです。また、**年末商戦を見据え、主要タイトルの発表は夏頃までに進む必要があり、本決算後にはこうしたカタリストの顕在化も期待**されます。以上を踏まえると、**短期的な不透明感**は残るものの、**中長期の成長力に変化はなく、本決算通過後を起点に評価見直しの余地**があると判断しています。

図表1 基準価額の推移

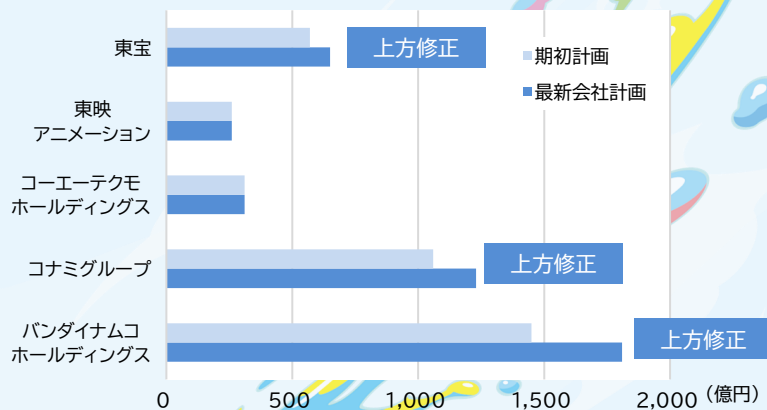
(期間:2025/9/26~2026/4/15、日次)



図表2 2024年度営業利益の期初計画と実績



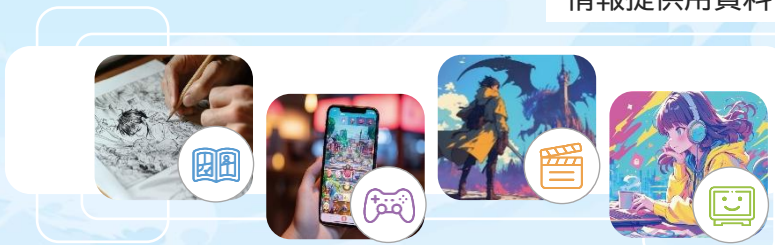
図表3 2025年度営業利益の期初計画と最新の会社計画



(図表2、3出所)各社公表データを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

好きが、  
世界を動かしている

# 銘柄紹介



## カプコン

### コンテンツ企業で異色の安定成長

カプコンは家庭用ゲームソフトの開発・販売を主力とする企業であり、業績が大きく変動しやすいコンテンツ業界において、**12期連続の増益を実現**している点に特徴があります。

コンテンツ関連企業は一般的にヒット作の有無によって業績が大きく変動しやすく、収益の安定性に欠ける傾向があります。一方で同社は、こうした業界の中においても**每期安定的に収益を積み上げてきた異色の存在**です。この背景には、「モンスターハンター」や「バイオハザード」などの全世界でブランド化された有力IPを複数保有し、シリーズ展開によって継続的に収益機会を創出できる点があります。また、**新作に加えて、過去作のリピート販売が毎年積みあがっている**点も業績の安定成長に貢献しています。

### IPのマルチユース展開で更に強靱な成長基盤へ

カプコンは每期10%の営業利益成長を経営目標に掲げ、新作投入やリピート販売の強化により、高成長かつ安定的な収益拡大を実現してきました。足元では**人気コンテンツのマルチユース展開**を積極的に進めています。従来のゲーム領域に加え、映像、メディア、キャラクターグッズ、イベント、eスポーツなどへ展開することで、幅広い層へユーザー基盤の拡大を図る戦略です。この戦略の優れている部分は新たな収益源の創出に加え、**ファン層の拡大を通じて既存のゲーム事業の成長にも寄与**する点です。マルチユース展開の進展により、これまで以上に強靱で安定的な成長基盤の構築が期待されます。

### 新年度も安定的な成長に期待

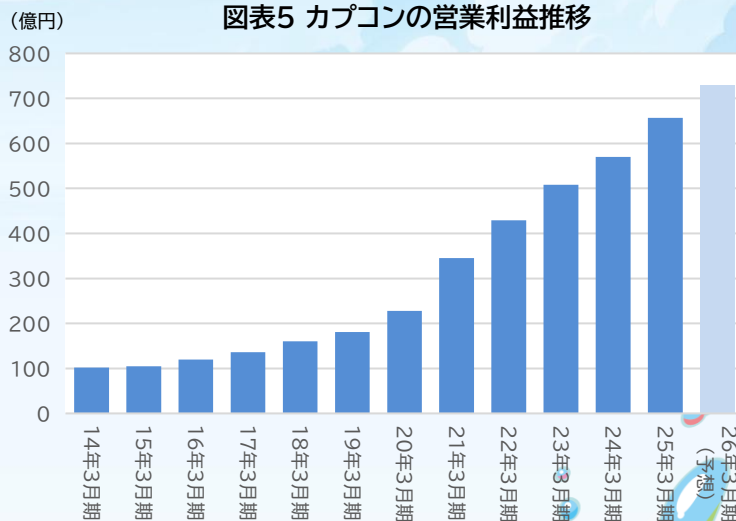
4月からスタートした新年度についても、リピート販売の拡大やマルチユース展開の進展により、増益基調が継続する可能性が高いとみられます。また同社は中期的に営業利益10%成長を目標に掲げており、継続的な成長を前提とした経営方針が明確であることから**会社計画が過度に保守的となるリスクは相対的に限定的である**と考えられます。

\*上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および当ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

図表4 カプコン人気IPのシリーズ総販売本数

シリーズタイトル	本数
バイオハザード	1億8,300万
モンスターハンター	1億2,500万
ストリートファイター	5,800万
ロックマン	4,400万

図表5 カプコンの営業利益推移



※26年3月期は会社予想値  
(図表4・5出所)カプコンの公表データを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

図表6 IPマルチユース戦略のイメージ



※上記はイメージです。

## 販売会社一覧

2026年4月22日現在

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。  
なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
三津井証券株式会社	北陸財務局長(金商)第14号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

委託会社  
お問い合わせ先

電話番号  
03-3516-1300(営業日の9:00~17:00)

ホームページ  
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

## ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株ファンドに関する留意事項

### ■ 投資リスク

#### 基準価額の変動要因

投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」、「特定の業種・テーマへの集中投資に係るリスク」、「流動性リスク」があります。

※「基準価額の変動要因」は、上記のリスクに限定されるものではありません。

#### 留意事項

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。

### ■ お客様にご負担いただく費用

●購入時手数料:  $\text{購入金額}(\text{購入価額} \times \text{購入口数}) \times \text{上限}3.3\%$ (税抜3.0%)

●換金手数料: **ありません。**

●信託財産留保額: **ありません。**

●運用管理費用(信託報酬):  $\text{純資産総額} \times \text{年率}1.628\%$ (税抜1.48%)

●その他費用・手数料: 監査費用[ $\text{純資産総額} \times \text{年率}0.011\%$ (税抜0.01%)]

有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。

(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

○お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

○詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。



商号等: SBI岡三アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第370号  
加入協会: 一般社団法人資産運用業協会

#### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに応じた場合は、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。